＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	木の香るうちなーの家
グループの名称	沖縄の木の家研究倶楽部
直近採択グループ番号	06-0248-0804

（グループ代表者）

代表者名	安永　尚利　代表者印
代表者所属先	株式会社安永建築
代表者所在地	沖縄県中頭郡中城村南上原1051番地-2
代表者電話番号	098-943-2396

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社ワイテック　沖縄プレカットセンター
事務局担当者名	藤久保　真一　印
事務局郵便番号	901-0306
事務局所在地	沖縄県糸満市西崎町5-12-19
事務局電話番号	098-940-8680
事務局FAX	098-995-1181
事務局担当者E-mail	s.fujikubo@yamaehisano.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	木の香るうちなーの家
２．グループの名称(必須)	沖縄の木の家研究倶楽部
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0248-0804
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	沖縄県
５．結成年(必須)	2017　年
６．グループ代表者名(必須)	安永　尚利
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社安永建築
８．グループ代表者所在地(必須)	沖縄県中頭郡中城村南上原1051番地-2
９．グループ代表者電話番号(必須)	098-943-2396
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ワイテック　沖縄プレカットセンター
１１．グループ事務局担当者名(必須)	藤久保　真一
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	901-0306
１３．グループ事務局所在地(必須)	沖縄県糸満市西崎町5-12-19
１４．グループ事務局電話番号(必須)	098-940-8680
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	098-995-1181
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	s.fujikubo@yamaehisano.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	6	国有林や海外から原木の調達を行う場合は原木事業者の出荷証明書・事業者認定書の取得はない
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	5	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	各工務店には長寿命型、又は高度省エネ型のうちいずれか最低1戸を確保しグループの採択戸数の6割を超えた時点、又は、10月以降から先着順とする。また年間を通して「未経験工務店」を優先した配分ルールとする

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）										
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸		
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）										
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸		
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）										
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸		
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）										
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸		
	優良建築物型										
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸		
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡		

<グループ構成員記入用リスト>Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通） <様式 2-2・Ⅰ>

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
国有林や海外から原木の調達を行う場合は原木事業者の出荷証明書・事業者認定書の取得はない

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
45	Ⅰ － 1	木脇産業 株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
45	Ⅰ － 2	都城地区製材業協同組合		885-1103	宮崎県都城市上水流町2878番地	0986-36-3010
46	Ⅰ － 3	北薩森林組合北薩木材流通センター		895-2104	鹿児島県薩摩郡さつま町柏原3275番地	0996-54-2920
46	Ⅰ － 4	隼人木材流通センター		899-5114	鹿児島県霧島市隼人町西光寺小関1710番地	0995-42-2064
46	Ⅰ － 5	高山木材流通センター		893-1207	鹿児島県肝属郡肝付町新富植村7151番地	0994-65-5234
40	Ⅰ － 6	株式会社 ワイテック		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目5番12号	092-633-6151
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
45	Ⅱ － 1	木脇産業 株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
40	Ⅱ － 6	株式会社 ワイテック		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目5番12号	092-633-6151
13	Ⅱ － 7	新栄合板工業 株式会社		113-0033	東京都文京区本郷1丁目25番5号	03-3816-2548
45	Ⅱ － 8	都城木材 株式会社		885-0006	宮崎県都城市吉尾町758番地1	0986-38-1500
34	Ⅱ － 9	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通） ＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
47	Ⅲ － 11	株式会社 吉田建材		901-0305	沖縄県糸満市西崎5丁目14番地の2	098-994-3007
47	Ⅲ － 12	有限会社 赤嶺光一材木		900-0025	沖縄県那覇市壺川２－１３－３４	098-853-1383
40	Ⅲ － 13	ヤマエ久野 株式会社		812-8548	福岡県福岡市博多区博多駅東2-13-34 エコービル	092-474-0711
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
47	Ⅳ － 14	株式会社 ワイテック 沖縄プレカットセンター		901-0306	沖縄県糸満市西崎町5丁目12-19	098-940-8680
46	Ⅳ － 15	株式会社 ワイテック 鹿児島プレカットセンター		891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町5-22	099-210-0971
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
47	Ｖ － 16	株式会社 都市建築設計		901-0151	沖縄県那覇市饒原町21番1号	098-858-1002		○
47	Ｖ － 17	有限会社安護建設工業		905-0211	沖縄県国頭郡本部町東119番地	0980-47-2894		○
47	Ｖ － 18	有限会社Ｔ一クリエイト		901-1415	沖縄県南城市佐敷新開1-73 C室	098-917-1102		○
47	Ｖ － 19	有限会社ハウスツーワン		901-0334	沖縄県糸満市大度275-13	098-852-4550	○	
47	Ｖ － 20	一級建築士事務所デザインキューブ建築設計室		901-2121	沖縄県浦添市内間2-1-2 国仲ビル4F-A	098-875-8104		○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							5	○	○
47	Ⅵ - 12	80868	有限会社 赤嶺光一材木		900-0025	沖縄県那覇市壺川２－１３－３４	098-853-1383		○
47	Ⅵ - 17	80872	有限会社安護建設工業		905-0211	沖縄県国頭郡本部町東119番地	0980-47-2894		○
47	Ⅵ - 18	80870	有限会社T一クリエイト		901-1415	沖縄県南城市佐敷新開1-73 C室	098-917-1102		○
47	Ⅵ - 19	80871	有限会社ハウスツーワン		901-0334	沖縄県糸満市大度275-13	098-852-4550	○	
47	Ⅵ - 21	80863	株式会社安永建築		901-2424	沖縄県中頭郡中城村南上原1051番地-2	098-943-2494		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
47	Ⅵ － 12	80868	有限会社 赤嶺光一材木	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
47	Ⅵ － 17	80872	有限会社安護建設工業	5 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
47	Ⅵ － 18	80870	有限会社Tークリエイト	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
47	Ⅵ － 19	80871	有限会社ハウスツーワン	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
47	Ⅵ － 21	80863	株式会社安永建築	16 戸	12 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木の香るうちなーの家	（地域型住宅供給対象地域）沖縄県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）沖縄の木の家研究倶楽部	（結成年）2017　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0248-0804	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	対象地域である沖縄県は年間を通して高温多湿な日が多く、室内における冷房機器の使用期間が長い地域である。また建築物のシロアリ被害も多く、これらの地域特性に対応した木造住宅を供給していく為に、以下の性能を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	①省エネルギー性能に関わる共通ルール	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・省エネルギー性能の高い木造住宅を供給して行く上で、断熱性能、設備機器等の省エネ性向上に加え、パッシブデザインにも配慮した住宅を推奨して行く。 ・九州産を中心とした地域材（合法木材）を積極的に採用していく。	◎
④ ①～③の背景	対象地域である沖縄地区は、高温多湿な気候に加え、夏の日射が強く長時間の為、室内が特に高温になり易く、冷房機器を長時間稼働させる生活が日常となっている。また湿度の高い地域でシロアリも多く、RC建築物であっても内装木部のシロアリ被害が多い地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	マンション住まいが多い沖縄県で、木造住宅の普及促進や地域型住宅の優良性を伝播させる為の活動を会員全員で積極的に行っていく。地域行事への参加、現場見学会,研修会等を開催する。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

	【平成30年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造材について、寸法の規格化を図り、グループ内の施工水準の均一化、施工技術の向上を図る	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ構成員が連携して、H28年度省エネ基準に適合した建材、設備機器の仕様の選定、統一化を行う。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ構成員が連携して、H28年度省エネ基準に適合した建材、設備機器の仕様の選定、統一化を行い、標準仕様を作成する。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：プレカット事業者による地域材、合板、その他木材の共同購入を行い、品質の均一化と安定的な供給体制を構築する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：各種出荷証明書、専用発注書等の共通書式を作成し、合理化を図る	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：地域型住宅の共通ルールに関わるチェック機能としての検討委員会を設置する。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：検討委員会は事務局内に設置し、検討結果、改善策等を、対象グループ構成員に報告を行う。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：「住宅の省エネルギー技術に関する講習会（施工者向け）」の施工内容をグループの施工基準とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：①共通の現場チェックシートを作成し、それに基づいた施工業者による現場検査の徹底。 ②物件毎にチェックシート（現場写真含む）を、適宜事務局へ提出。 ③事務局による物件毎の管理と不備があった場合の施工業者への報告。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：標準見積様式を使用し、お客様にわかり易い見積提出を行っていく。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：グループ構成員主催のイベント等で、積極的に地域型住宅の品質、特長のPR活動を行う。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：グループとして週休2日制の導入を推進するが、各種イベント等の実施により、週休2日とできない場合は、振り替え休日を設けるなどを実施し月平均で週休2日となるよう調整する	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：・技能・経験等に応じた客観的な判断基準をグループ内で検討し、特に取り組みの参考になる事業者の事例をグループ総会時などに紹介する	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の各事業者について社会保険の加入にかかる実情をヒアリングし、加入の推進を図る	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：・施工現場での安全マニュアルの策定を進めるとともに、マニュアルを実践し取組み事例をグループ内で共有する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局が中心になり、国の施策や資金計画提案等の勉強会を折々に開催する。				◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木の香るうちなーの家	（地域型住宅供給対象地域）沖縄県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）沖縄の木の家研究倶楽部	（結成年）2017　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0248-0804	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：原則、第三者機関による住宅履歴情報ｻｰﾋﾞｽを活用し、施主に対してｻｰﾋﾞｽの遡求を行う。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：原則あんしんいえかるて等を活用していくが、施工業者独自の履歴蓄積方法がある場合は加入を必要としない。但し、事務局への届出を必須とする。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：履歴情報蓄積方法について、事務局に報告、ﾁｪｯｸｼｰﾄによる確認を行う。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅の「維持保全計画書」に基づき1,3,5,10,20,30年目の点検を行い、実施後は事務局に報告を行う。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：各会員の補修知識を共有し、マニュアル化を行っていく。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検時のチェックシートの提出の義務付けを行う。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：「住宅の管理、補修、メンテナンス方法」についての勉強会を開催する（年1回）	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：設計事業者、施工事業者を対象とした、資金計画や各種補助制度の相談会を行う（年1回）	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：事務局が主体となり、施工事業者、設計事業者を中心とした委員会を設置する。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：事務局がグループ内の事業者を紹介し、当該住宅の維持管理体制を継続していく。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：事務局主催の勉強会時に、住宅瑕疵担保責任協会等の過去事例,対策方法等の紹介を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			グループ内の施工事業者の住宅維持管理方法についてのレベルの平準化を図る為に、逐次情報交換を行う。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：未経験施工事業者に対しては、事務局主催の勉強会の他に個別対応を行い技術向上を図る。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：土台、管柱、通し柱、梁桁についてはKD材の仕様を義務付け。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：プレカット事業者による見積もり段階での仕様チェックを行う。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：採択発表後に事務局が施工事業者毎にヒアリングを行い、その゛結果に基づき需給計画を策定する。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：2020年の省エネ基準適合義務化に向け、2019年度を目途に施工事業者全てが対応可能な取組を行う。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：設計事業者、施工事業者、流通事業者の情報共有化と共通仕様作成への取組。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　1		今年度の参加目標人数　6	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　1		今年度の参加目標人数　5	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：未受講者への事務局からの開催日時、概要の告示を行う。	◎
c	①	新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			特になし			

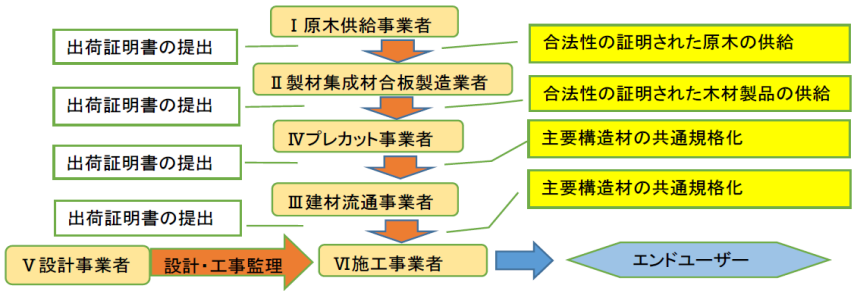
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木の香るうちなーの家	（地域型住宅供給対象地域）沖縄県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）沖縄の木の家研究倶楽部	（結成年）2017 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0248-0804	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材（土台、柱、梁、桁）において50%以上を国内・国外の合法木材とする。また製材工場を明確にし安定供給に努める。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：プレカット、原木、製材事業者からの情報を、事務局が定期的に会員へ発信する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：プレカット、原木、製材事業者からの情報を、事務局が定期的に会員へ発信する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：事務局より施工事業者の着工予定等を、プレカット、製材事業者へ早めに通知する。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の仕様予定枚数（1畳換算） 60枚（6畳x10棟）	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：琉球石灰岩を玄関アプローチ等への使用の推奨	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：沖縄地区での伝統であるシーサー等の置物の設置。（推奨）	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：事務局主催の勉強会時に写真や施工事例資料の紹介を行う。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：将来の家族構成の変化に対応した、間取りの変更が容易な設計の提案を行う。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域の景観に関する条例やガイドラインに即した設計の提案を行う。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：高齢者の居住する住宅については、和室設置と塗り壁や無垢の内装材等の仕上げ材を推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし	

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	特になし	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし	

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

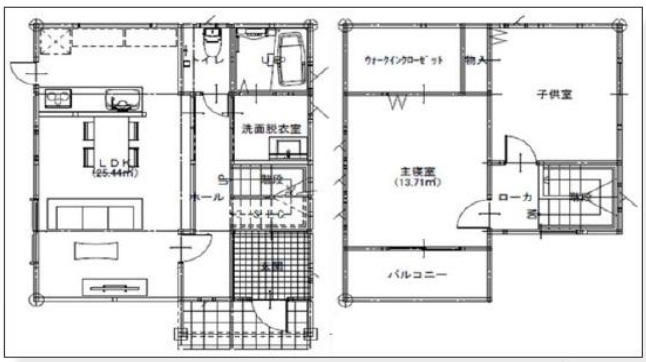
１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木の香るうちなーの家	（地域型住宅供給対象地域）沖縄県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）沖縄の木の家研究倶楽部	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0248-0804	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

「ゼロエネルギー住宅」について以下の仕様等を推奨する
・グループの標準仕様書、及び、様式5-1を基準とする。
RO値：33%、R値：106%
｛仕様｝
・断熱については屋根断熱を推奨。（押出ポリスチレン保温板3種等）。
・壁断熱については高性能グラスウール16Kを推奨。
・照明設備については住宅全体についてLED照明を推奨。
・太陽光設置（必須）

イメージ図です。



イメージ図です。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。